



# HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race	SUPER GT Rd.1
	OKAYAMA GT 300km RACE
Date	2016.04.09-10
Race Track	OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT
Team	Gulf Racing with PACIFIC
Car	GULF NAC PORSCHE 911



## 新体制の2016年開幕戦は予選出走ならず

SUPER GT シリーズ 2016 が、4月9～10日に岡山国際サーキットにおいて開幕。Gulf Racing with PACIFIC「GULF NAC PORSCHE 911」（阪口良平 / 吉田広樹）は、予選日朝に行われたサーキットサファリの時間帯に予期せぬ車両火災に遭い、予選出走を取りやめ。次の第2戦富士に向け、新たな気持ちで再スタートを目指すこととした。

PACIFIC RACING TEAM は、昨年 GT アジアシリーズに参戦した Gulf Racing JAPAN とジョイントし「Gulf Racing with PACIFIC」として新体制で SUPER GT シリーズ GT300 クラスに参戦する。20年以上の歴史を誇り日本で最も人気を集める SUPER GT は、毎戦 40 台以上のエントリーがあり最も競争の激しいシリーズ。今年の参戦車両は最新型のポルシェ 911 GT3R を用い、往年のル・マン 24 時間での GULF カラーをまとった「GULF NAC PORSCHE 911」。ドライバーは昨年同様ベテランの阪口良平、そして新加入の吉田広樹を起用する。またメンテナンスは、Gulf Racing JAPAN と同じ岐阜にある NAC（中日本自動車短期大学）がサポート。卒業生とセレクションにより選ばれた学生がメカニックとしてチームのサポートを行いながらの参戦となる。

岡山国際サーキットは、1990年にオープンした1周3.703kmのサーキットで、F1パシフィックグランプリも開催されたことがある。2本のストレートを13のタイトなコーナーでつないだテクニカルコースで、コース幅も狭い場所がありオーバーテイクも簡単ではない。ポルシェ 911 GT3R は新たな性能調整 (BoP) を受け、最低車重は 1,280kg から 1,260kg に軽くなったものの、リストラクター径は 43.0mm×2 から 40.0mm×2 へと狭められた。このコースは長いストレートが続くわけではないので、コーナリングスピードを上げて行けば、全体的なタイムアップが望めそうだった。

3月中旬の岡山の合同テストでは、初日にマシントラブルに見舞われ満足な走りができなかった。しかし翌週の富士で行われた合同テストではノントラブルで走り、開幕戦に向け大きなデータを収集。チームは新たな気持ちで岡山へ入った。

### 2016.04.09 FREE PRACTICE (フリー走行 22位 / 29台中) WEATHER : DRY

岡山には 15 台の GT500 車両、29 台の GT300 車両、計 44 台が参加。9 日朝に行われた練習走行では、まず阪口がコースインしてマシンの挙動をチェック。テストでは満足にできなかったセッティングを煮詰めて、交代した吉田がそれを確認していく作業が続けられた。このセッションでは 1 分 28 秒 572 のベストタイムをマークして 22 位につけた。さらにタイムアップを目指して次のサーキットサファリまでの 15 分間のインターバルでセッティングを変更。サーキットサファリが始まると、その確認のために阪口がコースインした。しかしそのアウトラップの通称「ダブルヘアピン」（レッドマン～ホップスコーナー）で突然エンジンルームから出火。瞬間に火は広がったが、阪口は車両から脱出して無事だった。



回収された車両は、焼けた外板、マフラー、補機類、そしてエンジンが降ろされトラブルの原因を探ったが、燃料系のトラブルということだけで現場での原因究明はならず。チームは予選出走を断念し、開幕戦への出場は残念ながらできなかった。現場ではポルシェ社スタッフとの緊急ミーティングも行われ、次戦・富士には新たなボディを投入することを協議。チーム全体のテンションを上げ気持ちを入れ替えて、3週間後に行われる第2戦の準備に入ることとした。

### 2016.04.09 QUALIFYING (公式予選 未出走) WEATHER : DRY

未出走となってしまったが、チームでは、現地へ来てくれたファンの期待に応えるために、予選決勝の両日ともピットウォークとキッズウォークに参加。ドライバーやレースクイーンの Pacific Fairies がファンとの交流を楽しむことができた。そして感じ取った熱いパワーを元に、第2戦以降の活躍を目指す。

## SPONSORS



## PARTNERS





# HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE



## マシンダメージを修復出来ず、決勝も出走ならず

2016.04.10 RACE (決勝 未出走)

WEATHER : DRY

前日予選に引き続き決勝も未出走となってしまったが、チームでは、現地へ来てくれたファンの期待に応えるために、予選決勝の両日ともビットウォークとキッズウォークに参加。ドライバーやレースクイーンのパacific Fairies がファンとの交流を楽しむことができた。そして感じ取った熱いパワーを元に、第2戦以降の活躍を目指す。

### ■江仙嗣監督

「ボルシェ 911 は今年から新型 (991) に変わったこともあり、初期不良が出ることは覚悟していましたが、まさかウチには思いませんでした。原因は不明でボルシェと共に究明しています。スタッフにミスもありませんでした。前回の岡山テストを反省し万全を期したはずでしたが、このトラブルは想定外です。次の富士に向けては新しい車両に入れ替えるということで、ボルシェと協議中です。予選にも出走できず、スポンサー、ファンの皆さまに迷惑をお掛けして恥ずかしいです。必ず結果でお返しできるよう努力してまいります」



### ■阪口良平選手

「朝からラップを重ねて走り込んでいましたが、クルマには何も問題ありませんでした。レースラップを想定した走りでも他の車両に比べるとタイムの落ち込みも少なく、いい方向に行っていると確信していました。ただ最後の仕様変更でクルマの動きがガラッと変わってしまったので、サファリまでに変更したらクルマの反応がすごく良くなっていました。しかし急に煙に包まれてあっという間に火が回りました。何でこうなったのか、一歩間違えると大きな事故につながったと思います。次のレースまでには時間はありませんが、もっと上を目指していきます」

### ■吉田広樹選手

「これまでレースを続けてきて、サーキットを走れなくなったのは初めての経験で、やるせない気持ちです。練習走行ではメニューどおりに走りこんでセットアップを進め、予選へ向けていい流れで来ていました。今回のトラブルは残念ですが、原因をしっかりと探ってこのようなことが起きないようにしなければ。富士では新たな気持ちで臨みたいですが、一発の速さはありませんが、長距離レースやコンディションの悪いレースなどでは特に戦えそうな雰囲気がありますので、前向きにやっていくつもりです」

 吉田 広樹



## SPONSORS



## PARTNERS

